

工場立憲運動

賀川豊彦著

産業民主の第一歩

自由の聲を聞きを知ら無いで、たゞ奴隷のやうに面白くも無い人生を送ることは人間として耻べきことである。それで我等は先づ工場に於ての自由を叫ばねばならぬ。國には議會があり、縣村には各々縣村會があるにかゝわらず、労働者が毎日長時間労働する工場に自分の自由を保證する立法議會の無いことは眞違つたことである。我等は産業民主主義の徹底の第一歩として工場の立憲運動を絶叫す